



- (1) 気体のにおいは、<sup>(1)</sup> 手 であるでかぐ。
- (2) 石灰石にうすい塩酸を加えると<sup>(2)</sup> 二酸化炭素 が発生する
- (3) 二酸化マンガンにオキシドール(うすい過酸化水素水)を加えると<sup>(3)</sup> 酸素 が発生する。
- (4) 鉄や亜鉛にうすい塩酸や硫酸を加えると<sup>(4)</sup> 水素 が発生する。
- (5) ★ 二酸化炭素は、無色・無臭の気体で、<sup>(5)★</sup> 石灰水 を白くにごらせる性質がある。
- (6) ★ 酸素は、無色・無臭の気体で、物質を<sup>(6)</sup> 燃やす はたらきがあるが、酸素そのものは燃えない。
- (7) ★ 水素は、無色・無臭の気体で、空気中で火をつけると燃えて<sup>(7)</sup> 水 ができる。
- (8) 物質の中で、最も密度の小さい気体は<sup>(8)</sup> 水素 である。
- (9) 空気中に体積の割合で最も多くふくまれている気体は、<sup>(9)</sup> 室素 である。

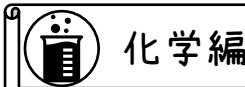
## &lt;選択肢&gt;

石灰水  
酸素  
二酸化炭素  
水素  
血穀 室素  
水  
手  
燃やす

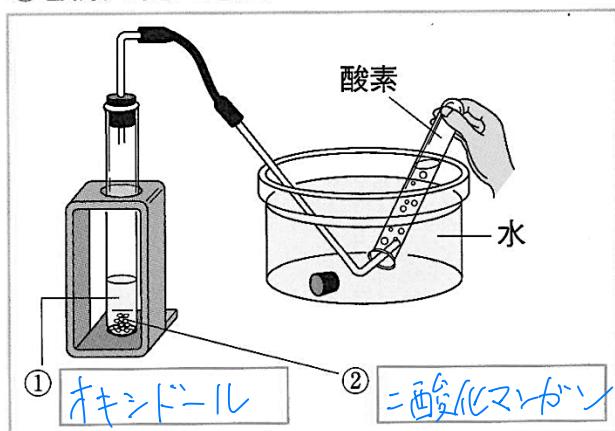
- (1) 塩化アンモニウムと水酸化カルシウムを混ぜ合わせて加熱すると<sup>(1)</sup> アンモニア が発生する。
- (2) ★ アンモニアは、特有の刺激臭があり、水に非常にとけやすい。アンモニアが水にとけると、<sup>(2)</sup> 水溶性 を示す。
- (3) <sup>(3)</sup> 水上置換法 は水にとけにくい気体を集めめる方法である。
- (4) <sup>(4)</sup> 上方置換法 は水にとけやすく、密度が空気よりも小さい気体を集めめる方法である。
- (5) <sup>(5)★</sup> 下方置換法 は水にとけやすく、密度が空気よりも大きい気体を集めめる方法である。
- (6) 酸素、<sup>(6)</sup> 水素 、二酸化炭素は、★水上置換法で集めることができる。  
——水に少しだけとける。
- (7) <sup>(7)</sup> アンモニア は、★上方置換法で集めることができる。

## &lt;選択肢&gt;

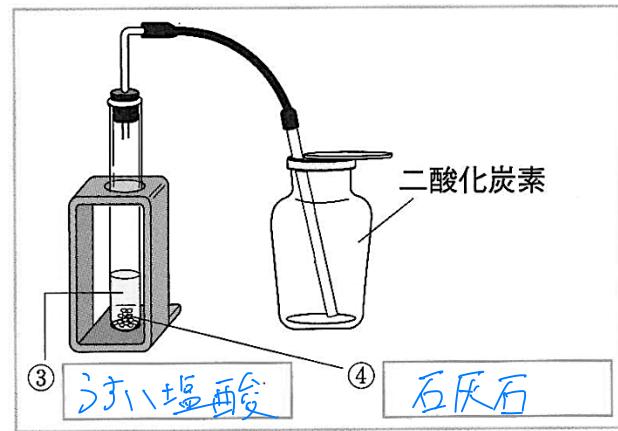
水上置換法  
上方置換法  
下方置換法  
アンモニア  
水素  
アルカリ



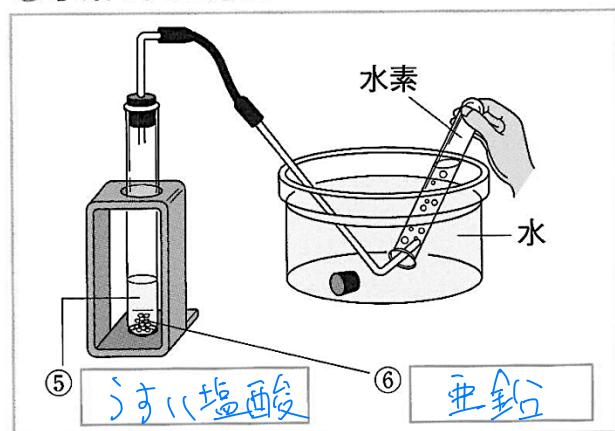
### ●酸素の発生方法



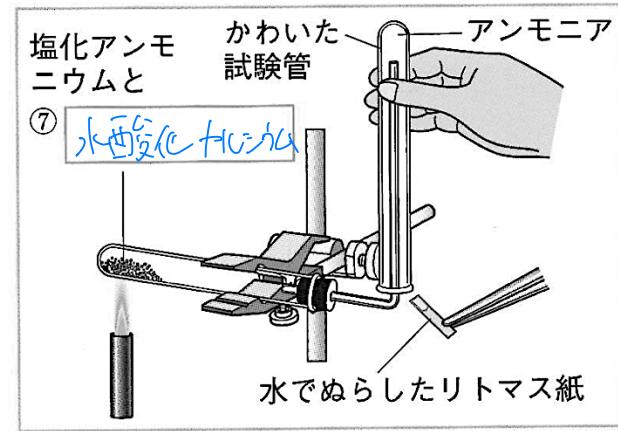
### ●二酸化炭素の発生方法



### ●水素の発生方法

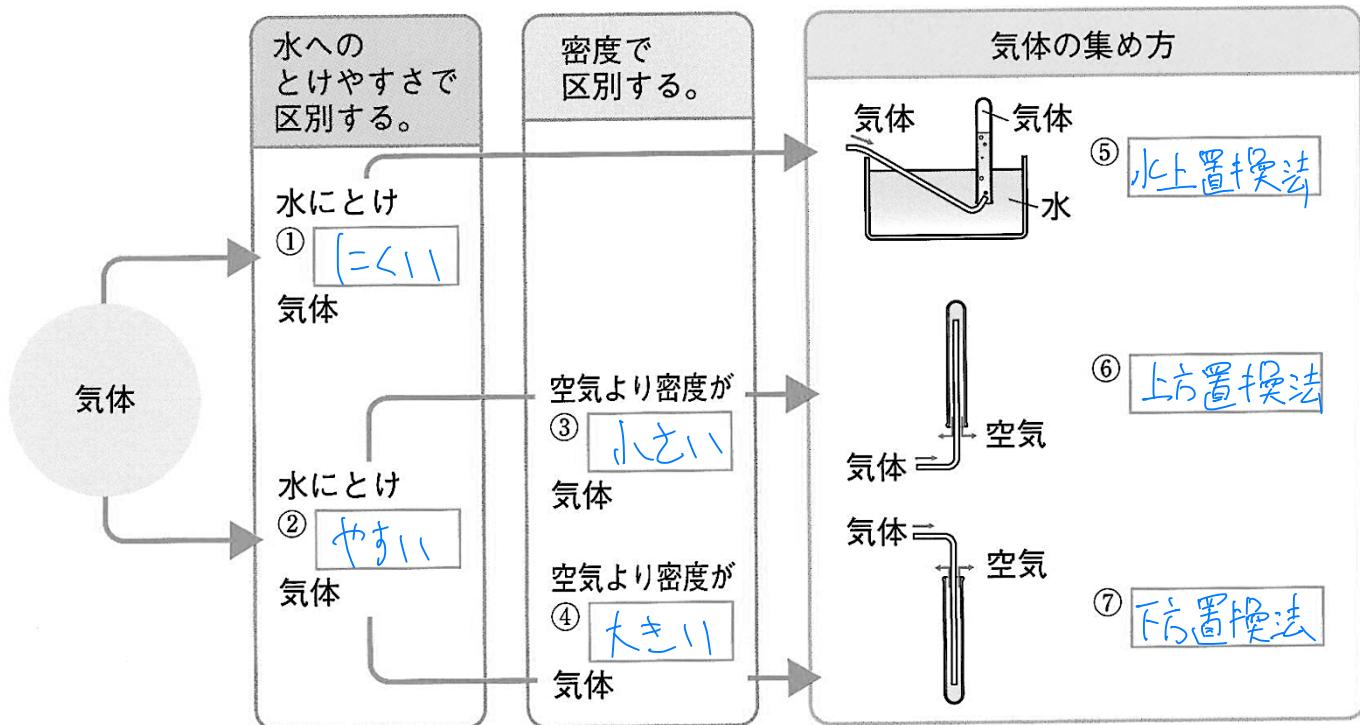


### ●アンモニアの発生方法



### 〈選択肢〉

うすい塩酸 オキシドール 亜鉛 石灰石 二酸化マンガン 水酸化カルシウム



### 〈選択肢〉

小さい 大きい やすい にくい 上方置換法 下方置換法 水上置換法